上毛新聞　2005 年 7 月 26 日掲載

熱心に講義を聴く初任科生ら

時の話題

▽吉井町神保の仁叟寺（渡辺啓司住職）で二十五日、「子ども禅の集い」が始まった。高崎市と同町の小学生三十一人が参加、一泊二日の予定で、座禅や寺の清掃など普段の生活と一味違った寺の生活を経験する。

▽規律正しい寺の生活を通じ、子どもたちに印象深い夏休みの思い出を作ってもらおうと、同寺が二十年以上続けている恒例行事。座禅や清掃、本堂での寝泊りを通じて、参加者同士の交流を深めていく。

▽子どもたちは壁に向かって足を組み、精神を集中させて座禅に挑戦。参加した斉藤翼君（高崎市中居小六年）は「疲れたけど楽しかった」と満足そうに話していた。